



徳川家康公顕彰四百年記念事業

広重と なぞ+よゾ浮世絵

一名所絵で見る判じ絵の世界

6月2日(火) - 8月9日(日)

Part 1 / 6月2日(火) - 7月5日(日)

Part 2 / 7月7日(火) - 8月9日(日)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト)

協力：徳川家康公顕彰四百年記念事業 静岡部会事業実施本部、蛇足庵



企画概要

天下泰平の礎を築いた徳川家康の没後 400 年を記念し、江戸時代に流行した庶民の娯楽「判じ絵」をご紹介します。目で見えるなぞなぞ「判じ絵」。答えとは直接無関係の絵や文字から隠された意味を導き出す、遊び心が詰まった浮世絵です。本展覧会では、名所や食べ物、道具といった様々なテーマを扱った判じ絵を展示いたします。名所を題材とした判じ絵では、その場所を描いた広重の名所絵を答えとしてご紹介し、判じ絵と名所絵を同時にお楽しみいただける当館ならではの展示といたしました。判じ絵が示した場所を広重の作品ではどのような風景だったのかお確かめください。江戸の人々の遊びとして花咲いた判じ絵に皆さんも挑戦してみませんか。

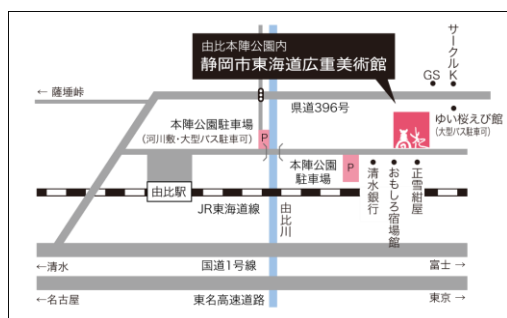
開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般 510 円（410 円） / 大学生・高校生 300 円（240 円） / 中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料

※（ ）は20名以上の団体料金



電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号経由約 20 分

■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号経由約 25 分

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

■ 展覧会のみどころ

① 判じ絵×名所絵

地名を解く判じ絵と、その答えとなる風景を描いた名所絵を展示。江戸の地名や東海道の宿場名に挑戦しながら、答えを文字で示すだけでなく、出題された場所の風景もあわせてご覧いただける、今までにない貴重な機会となります。

左 / Part 1 展示作品 歌川重宣（二代歌川広重）『江戸名所はんじもの』(部分) 蛇足庵蔵

右 / Part 1 展示作品 歌川広重『江戸名所 浅草金龍山』当館蔵

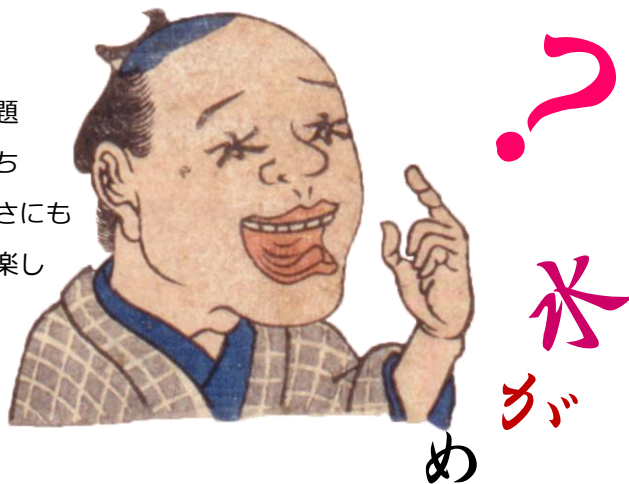


② 江戸の庶民と知恵比べ

判じ絵には食べ物や身近な道具など、様々なものが問題として登場します。隠された答えを導き出すことはもちろん、問題として描かれた絵のありえない状況の面白さにもご注目いただきながら、江戸の人々との知恵比べをお楽しみください。

右 / Part 1 展示作品

歌川重宣（二代歌川広重）『勝手道具はんじもの 上』(部分) 蛇足庵蔵



■ 関連企画 1 / 講演会『江戸のなぞなぞ－判じ絵の世界－』

講師：岩崎均史（静岡市東海道広重美術館 館長）

日時：7月18日（土）13:30～15:00

参加費：無料 ※入館料別途

定員：35名（要事前申し込み）

申し込み：WEBサイト・電話（054-375-4454）にて申し込み
（先着順 ※定員になり次第受付を終了します）



Part 2 展示作品 歌川重宣（二代歌川広重）
『勝手道具はんじもの 下』(部分) 蛇足庵蔵

■ 関連企画 2 / 当館学芸員によるギャラリートーク

日時：Part 1 / 6月14日（日）13:00～13:30

Part 2 / 7月19日（日）13:00～13:30

参加費：無料（入館料別途）

※当日当館エントランスホールにお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）

■ 判じ絵とは

「判ずる・判じる」とは、「推しはかって考えること」で、意味を考え解くこと。判じ絵は、ある意味を絵に隠して示し、人に考えさせて当てさせる、「絵で見るなぞなぞ」や「非文字のクイズ」といえるでしょう。あらゆるものが判じ絵の題材となっており、国名・地名などの広く知られたものから、身の回りのもの、流行りのものや人名など、当時の知識がない私たちにとっては、解答に苦勞するものも度々登場します。

■ 判じ絵に挑戦

- ルール：**
- ① **しゃれ** 同音異義語を利用し、音を頼りに答えを導きます。
 - ② **逆さ読み** 逆さまに描かれた絵は、逆から読みます。

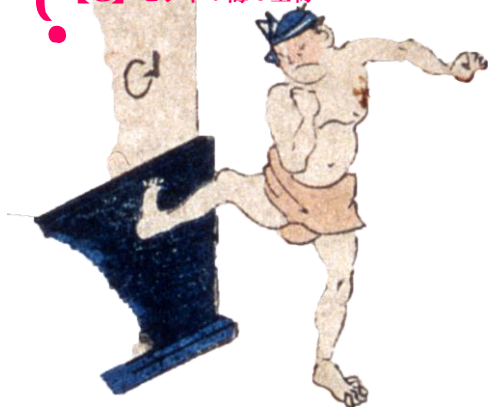
【A】 ヒント：国名



【B】 ヒント：宿場名



【C】 ヒント：海の生物



【D】 ヒント：暖房器具



解答

- 【A】 播磨／張り物をする化け猫＝魔
- 【B】 箱根／歯・逆さのねこ（こね）
- 【C】 くらげ／蔵を蹴る
- 【D】 こたつ／子が立っている

- 【A】 左：Part 1 展示作品 歌川重宣（二代歌川広重）『国尽はんじ物 三』（部分）蛇足庵蔵
右：Part 1 展示作品 歌川広重『六十余州名所図会 播磨 舞子の濱』当館蔵
- 【B】 左：Part 2 展示作品 一鵬斎芳藤『東海道五十三次はんじ物』（部分）蛇足庵蔵
右：Part 2 展示作品 歌川広重『富士三十六景 はこねの湖すい』当館蔵
- 【C】 Part 1 展示作品 一宝斎国盛『さかなのはんじもの 上』（部分）蛇足庵蔵
【D】 Part 2 展示作品 一英斎芳艶『座しき道具はんじ物』（部分）蛇足庵蔵

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 5 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



□作品名およびクレジット

- | | | |
|-----|--------------|--|
| 1 | 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2-1 | 歌川重宣（二代歌川広重） | 『江戸名所はんじもの』（部分）蛇足庵蔵 |
| 2-2 | 歌川広重 | 『江戸名所 浅草金龍山』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3 | 歌川重宣（二代歌川広重） | 『勝手道具はんじもの 上』（部分）蛇足庵蔵 |
| 4 | 歌川重宣（二代歌川広重） | 『勝手道具はんじもの 下』（部分）蛇足庵蔵 |

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際は、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等にご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際は、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。

『広重となぞなぞ浮世絵 - 名所絵で見る判じ絵の世界 - 』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

- 1 ☐ 展覧会ポスターイメージ
- 2-1 ☐ 歌川重宣（二代歌川広重）『江戸名所はんじもの』（部分）
- 2-2 ☐ 歌川広重『江戸名所 浅草金龍山』
- 3 ☐ 歌川重宣（二代歌川広重）『勝手道具はんじもの 上』（部分）
- 4 ☐ 歌川重宣（二代歌川広重）『勝手道具はんじもの 下』（部分）

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等にご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp